



CONTENTS

町長あいさつ	P02
町域概要	P03
茨城町文化交流会館 「いばSUNホール」	P05
涸沼水鳥・湿地センター(展示施設)	P06
涸沼と観光	P07
笑顔と活気があふれるイベント	P09
町の特産品・名産品 茨城町特産品ブランド「いっぴん」	P11
ふるさと納税返礼品	P13
茨城町の史跡・文化財	P15

茨城町第6次総合計画	P16
① 健やかでやさしい健康・福祉のまち	
② 快適で安全・安心な生活環境のまち	
③ 次代を担う人を育む教育・文化のまち	
④ 活力と交流あふれる元気産業のまち	
⑤ 未来への生活基盤が整ったまち	
⑥ みんなの力でつくる自立したまち	

行政／議会	P19
茨城町のあゆみ	P20
データでみる茨城町	P23
茨城町のプロフィール	P24
歴代町長等 名簿	P25

町長あいさつ

茨城町は、茨城県のほぼ中央に位置し、涸沼をはじめとする水と緑の豊かな自然環境と、うるおいのある生活環境に恵まれた都市近郊の田園都市です。

昭和30年の合併から始まり、令和7年2月11日に町制施行70周年を迎えました。現在の茨城町があるのは、町民の皆様よりいただいたあたたかいご支援・ご協力の賜物であります。改めて深く感謝申し上げます。

近年では、令和6年11月に涸沼水鳥・湿地センター(展示施設)が開館しました。様々な展示により、ラムサール条約登録湿地である涸沼について学ぶことができる施設になっています。また、令和8年9月には、茨城町文化交流会館「いばSUNホール」が開館します。文化芸術活動の拠点として、地域間・世代間の交流が生まれることを期待しています。

茨城町は、「三世代が共に輝く元気交流空間 夢と希望を未来へつなぐまち」をキーワードに、町民の皆様との対話を大切にしながら、「住んでよかった」「ずっと住み続けたい」と思っただけのようなまちづくりを全力で進めてまいります。

この町勢要覧では、茨城町の魅力を広く紹介しています。この要覧を通じて、茨城町をより身近に感じていただければ幸いです。



町長 小林 宣夫

三世代が共に輝く元気交流空間 夢と希望を未来へつなぐまち

町の持つ特性・資源を最大限に生かして、町にかかわるすべての人が笑顔でふれあい、交流し、元気になる、夢と希望に満ちあふれたまちをみんなでつくり上げ、未来へつないでいきます。

「町民憲章」

わたしたちは、美しい自然と、豊かな大地にはぐまれて、限らない躍進をつづける茨城町の仲間です。美しく愛に満ちた郷土づくりに、責任と誇りをもって参加するため、ここに町民憲章を定めます。

1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。

1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。

1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。

1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。

1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

(昭和59年11月9日制定)



茨城町は、茨城県のほぼ中央に位置し、涸沼をはじめとする水と緑の豊かな自然環境と、県都水戸市に隣接し生活環境に恵まれた田園都市で、農商工三位一体によるバランスのとれた町です。

位置／地勢

位置▶東経140°25′ 北緯36°17′
面積▶121.58km² 東西▶約17km 南北▶約14km
平均気温▶約14.1℃ 年間降水量▶約1,367.7mm

町の中央部を涸沼川、涸沼前川、寛政川の3本の川が流れ、東端に位置する涸沼に注いでいます。



1 役場庁舎



2 総合福祉センター「ゆうゆう館」



3 文化交流会館「いばSUNホール」



4 消防本部



5 駒場庁舎



6 学校給食共同調理場



7 運動公園



8 桜の郷コミュニティセンター



10 いばらき聖苑



11 涸沼自然公園



IBARAKI TOWN 町域概要



9 水道課



12 涸沼水鳥・湿地センター (展示施設)

ACCESS

- 自動車の場合
- 東京方面から(約1時間)
【三郷JCT】▶常磐自動車道▶【友部JCT】▶北関東自動車道▶【茨城町西IC】
 - 群馬・栃木方面から(約45分)
【栃木都賀JCT】▶北関東自動車道▶【茨城町西IC】
 - 福島方面から(約1時間10分)
【いわき中央IC】▶常磐自動車道▶【友部JCT】▶北関東自動車道▶【茨城町西IC】
- 鉄道の場合
- 東京方面から(約2時間)
【上野駅】特急ひたち・ときわ(約1時間20分)▶【水戸駅】バス(奥ノ谷行き・約40分)▶茨城町
【上野駅】特急ときわ(約55分)▶【石岡駅】バス(奥ノ谷行き・約35分)▶茨城町
- 高速バスの場合
- 東京方面から(約1時間35分)
【東京駅】みと号(約1時間25分)▶【茨城町西IC】タクシー(約10分)▶茨城町
- 航空機の場合
- 茨城空港から(約20分)
タクシーで県道18号経由▶茨城町





涸沼水鳥・湿地センター

｜展｜示｜施｜設｜



涸沼水鳥・湿地センター
〈展示施設〉

ラムサール条約登録湿地「涸沼」の歴史や汽水湖の環境、水鳥、魚類、昆虫、植物など豊かな生態系について紹介する展示コーナーと多様な保全活動や学習の拠点として利用できるレクチャールームの機能を有する施設です。

淡水と海水が 混じりあう汽水湖

関東唯一の汽水湖である涸沼。涸沼川の一部であり、満潮になると、太平洋の海水が那珂川、涸沼川を経て涸沼に注ぎ込みます。

涸沼

「ラムサール条約」 登録

涸沼は、ヒメマイトトンボをはじめ、渡り鳥のスズガモなど、多種多様な動植物が生息していることから、平成27年5月にラムサール条約登録湿地となりました。

「ヤマトシジミ」の 産地

涸沼は、塩分濃度や沼底の地形、砂泥の状態がヤマトシジミの生育に適し、餌となるプランクトン類も豊富であることから、全国的に有名なヤマトシジミの産地になっています。

涸沼を代表する生き物

オオセッカ

スズガモ

ヒメマイトトンボ



写真提供：清水道雄氏



写真提供：清水道雄氏



写真提供：小菅次男氏

茨城町文化交流会館 「いばSUNホール」

町民の文化的芸術活動の拠点や地域間・世代間の交流が生まれる施設として、令和8年9月に開館します。

【施設の概要】

ホール

軽運動室

大小会議室

音楽スタジオ

カフェ・ラウンジ

など



ホール(可動席 500席)



カフェ・ラウンジ





キャンプ場



せせらぎ広場



展望広場



わいわい広場



太陽の広場



あじさいの谷

涸沼自然公園

自然の地形をそのまま活かし、四季折々の花々や生物などの自然を身近に感じることのできる公園。広大な敷地に、多彩な広場やキャンプ施設もあり、幅広い層の方に親しまれています。

親沢公園

涸沼から昇る朝日と沈む夕日を見ることができる絶景スポット。キャンプ場も併設し、涸沼と筑波山を同時に眺めながら、優雅なひとときを過ごせます。水戸藩第二代藩主徳川光圀公の「親沢のつ松」の碑が建てられています。

網掛公園

涸沼を一望できるとともに、公園に設置されている野鳥観察台からは、スズガモなどの水鳥を観察することができます。

涸沼と観光

涸沼

広浦公園

涸沼全体を見渡せる広い砂浜がある公園で、釣り人からも人気のスポット。キャンプ場を併設し、バーベキューや水遊びも楽しめます。水戸八景の一つ「広浦の秋月」としても知られています。

11月

茨城町民祭

町内の子どもの作品をはじめ、絵画や書道、生け花など様々な作品が展示された会場は、とても華やかで創造性にあふれています。



11月

いばらきまつり

農商工の様々な分野が一堂に会する町最大のイベント。物販や地元グルメ、体験・PRブース、ステージショーなどで大いに賑わいます。フィナーレ花火は圧巻です。



12月

ひぬま de マルシェ

クリスマスイルミネーションと共に、グルメやハンドメイド作品の販売、ワークショップなどが楽しめます。

11月～12月ごろ

茨城町体力づくり 10マイル駅伝大会

涸沼の風を受けながら、町内外からの参加者が、厳しい寒さを吹き飛ばす力走を見せます。

四季

笑顔と活気があふれるイベント

茨城町は、心地よく過ごせる町。夏は暑すぎず、冬も寒すぎない穏やかな気候で、四季の移ろいを感じながらゆったりと過ごせます。花や野鳥など、季節ごとの自然の恵みに出会えるのも魅力です。

町では、笑顔と活気にあふれたイベントも開かれています。季節の花を楽しむお祭りや、地元の人たちが集まる市など、訪れる人も住む人も、心がほっとするひとときを過ごせます。

6月～7月

ひぬまあじさいまつり

約30種1万株の色とりどりのあじさいを堪能できます。特に、高低差のある「あじさいの谷」は見ごたえ十分。まつり期間中に開催するイベントでは、多数の飲食・体験ブースが立ち並び、様々な企画や催しを楽しむことができます。

7月

小鶴祇園祭

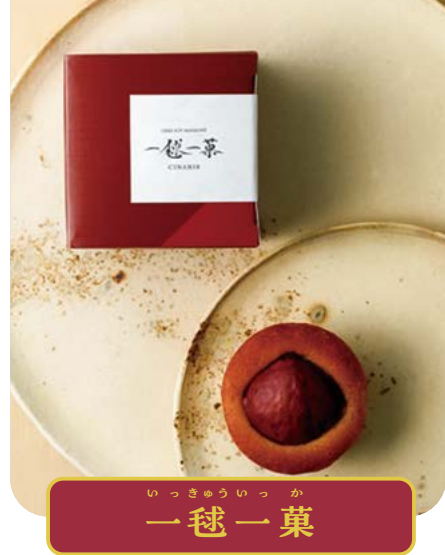
明治時代に無病息災を祈願したのが始まりといわれる、小鶴諏訪神社の境内にある八坂神社の祭礼。神輿や山車が練り歩き、活気にあふれます。



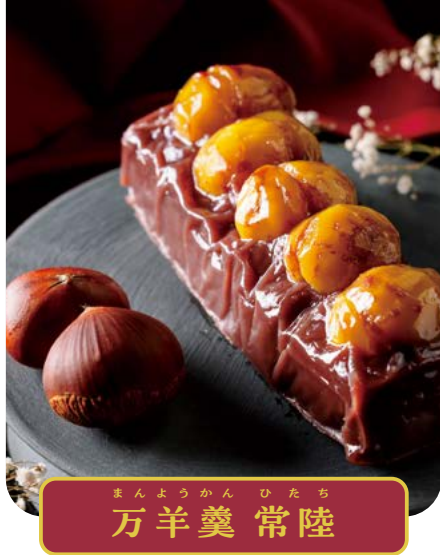
7月

あんばまつり

下石崎地区の大杉神社の祭礼。全国的にも珍しい和船をつないだ船上の舞台が涸沼の湖上に浮かび、山車に明かりが灯され、幻想的な雰囲気包まれます。



いっぴん
一穂一菓



まんようかん ひたち
万羊羹 常陸



いっぴん
一穂一果



飯沼栗

大きな特長は、「一穂一果(一つの
い穂に一つの果実)」を目指した丸く大
きな果実と、低温貯蔵により引き出
された甘さ。平成29年に栗として日
本ではじめて「地理的表示(GI)保護
制度」に登録されました。



メロン

栽培に適した気候と土壌により、
香り豊かで口当たりの良いメロンが
育ちます。

米

茨城町は、温暖な気候、
豊かな水、肥沃で平坦な
土地に恵まれ、食味豊かな
お米が生産されます。



茨城町の 特産品 | 名産品

ヤマトシジミ

潟沼でとれるヤマトシジミは大粒
で肉厚。栄養価が高く、濃厚な味わ
いです。

イチゴ

茨城町は県内有数のイチゴの産
地。大粒で甘く果汁たっぷりです。



ほしものパイ包み



ガレットサンド



町内産 米粉のおかし

米粉のおかしの詳細はこちら(町HP) ▶



常陸牛

たゆまぬ研究努力と
すぐれた飼育技術が生
む、茨城が誇る極上の霜
降り牛肉です。



1



2



3



4



5



6



7

第1回 認証品

- ばいり とん
1 梅里豚
2 しじみラーメン
3 飯沼栗

第2回 認証品

- 4 愛ちゃんメロン
[アンデス・レノン・イバラキング]

第3回 認証品

- 5 たがね餅

第4回 認証品

- 6 合鴨の米
7 ミルキークイーン
あまざけ



詳細はこちら
(町HP)

茨城町特産品ブランド「いっぴん」

茨城町特産品ブランド「いっぴん」とは…

町が誇る、特に優れた農畜水産物や商品。「信頼性・品質」「地元性」「ブランド力向上」
「独自性」「魅力性」の厳しい審査基準をクリアしています。





工芸品【ワイヤーアート など】



常陸牛ハンバーグ



ハーブティー



体験・施設利用チケット
【酒沼自然公園・乗馬・いも掘り など】



ペットシート



メロン
【優香メロン・イバラキング・アールスメロン など】



お米
【ミルキーQueen・コシヒカリ・ふくまる・にじのきらめき】

感謝の想いを込めて
ふるさと納税
返礼品



詳細はこちら
(町HP)

野菜
【どうもろこし・さつまいも・トマト・野菜定期便】



干し芋



三世代が共に輝く元気交流空間 夢と希望を未来へつなぐまち

1 健やかでやさしい 健康・福祉のまち



健康診査



シルバーハビリ体操



ふれあいいきいきサロン



子育て支援センター「まんまる一む」

- 1 保健・医療
- 2 子育て支援
- 3 高齢者支援
- 4 障がい者支援
- 5 地域福祉
- 6 国民年金・低所得者福祉

子どもを安心して生み育てることができ、すべての町民が健康で長生きできる環境づくりを進めます。

高齢者や障がい者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるよう、介護・福祉サービス等の推進を図ります。

また、すべての町民が安心した生活を送れるよう、社会保障の施策を推進します。



涸沼環境学習会



ひめま流域クリーン作戦



涸沼環境学習会



防災訓練



交通安全教室

2 快適で安全・安心な 生活環境のまち

- 1 環境保全
- 2 ごみ処理等環境衛生
- 3 上・下水道
- 4 公園・緑地
- 5 消防・防災
- 6 交通安全・防犯
- 7 消費者対策

「世界の涸沼」に代表される水と緑の豊かな自然が息づくまちとして、ずっと住みたくなる、移り住みたくなる美しく快適な生活環境づくりを進めます。

また、すべての町民が安全・安心に住み続けられる、あらゆる危機に強いまちづくりを進めます。

茨城町の 史跡|文化財

町指定史跡

小幡城跡

遺構の状態がほぼ原型のまま残る中世の城跡。迷路のように巧妙な空堀は迫力満点。

国指定彫刻

木造阿弥陀如来坐像

平安時代末から鎌倉時代初めに制作された寄木造りの阿弥陀如来坐像。円福寺で保管されています。大正4年に国の重要文化財に指定されました。

国指定天然記念物

大戸のサクラ

樹齢約500年を数えるシロヤマザクラの巨木。大正時代のはじめ頃には、枝が大きくはりだし、その広さは300坪(1,000㎡)もあったと言われています。水戸藩の第二代藩主徳川光圀公も大いに愛でたと伝わっています。

国指定史跡

小幡北山埴輪製作遺跡

6世紀から7世紀の埴輪製作遺跡。付近は古くから良質粘土が採れる場所として知られ、59基もの窯跡は全国最大規模を誇ります。

県指定建造物

木村家住宅

江戸時代長岡宿の脇本陣(大小名などが休泊した本陣の予備にあたる宿舎)として建てられた木造建築。安政4年(1857年)の長岡の大火で焼失するも再建され、当時の茅葺屋根の趣きを伝えています。



5

未来への生活基盤が整ったまち

- ① 土地利用・市街地整備
- ② 道路・公共交通
- ③ 情報化
- ④ 住宅、定住・移住対策

町全体の一体的・持続的な発展に向け、未来につながる計画的な土地利用を推進します。また、町民の利便性・安全性の向上に向け、道路網や公共交通の充実、情報化を進めていきます。

人口減少の抑制に向けた取り組みの一環として、定住・移住をサポートする施策を推進します。

町公式LINEの登録はこちら▶



桜の郷



デマンド型乗合タクシー「ひめまへる」



町公式LINE



移住定住パンフレット



6

みんなの力でつくる自立したまち

ふるさとづくり出前講座



ふるさと元気づくり推進事業



- ① 町民参画・協働
- ② コミュニティ
- ③ 人権尊重
- ④ 男女共同参画
- ⑤ 行財政運営

町民や関係団体、民間企業、大学等の「全員参加」によるまちづくりや、コミュニティ活動を促進します。

また、すべての人の人権が尊重され、ともに生き、ともに活躍することができる社会の形成に向けた取り組みを進めます。

さらに、自立・持続可能な経営体制の確立に向け、さらなる行財政改革を推進します。



国際交流



小型家電等回収促進プロジェクト

3

次代を担う人を育む教育・文化のまち

- ① 学校教育
- ② 生涯学習
- ③ スポーツ
- ④ 文化芸術・文化財
- ⑤ 青少年健全育成

創造性豊かで心身ともに健やかな人材の育成、この町で子どもに教育を受けさせたいと思えるまちづくりに向け、「人づくり教育」を進めます。

また、町民一人ひとりが自ら学び、活動し、充実した人生を送れる社会を目指します。



町民教養講座



ICTを活用した授業



小幡ひよとこばやし



茨城町体力づくり10マイル駅伝大会

4

活力と交流あふれる元気産業のまち

様々な農産物



国営緊急農地再編整備事業(水田)



- ① 農林水産業
- ② 商工業
- ③ 観光・交流
- ④ 雇用対策



ひろうら田舎暮らし体験



サイクルツーリズム

特色ある農業のまちとして、農業をまちづくりの中心に据え、多角的な農業振興施策の推進と、潤沼を生かした水産業の振興に努めます。

また、活力あるまちづくりに向け、商工業の活性化や、多彩な観光・交流資源を生かした交流の充実を図ります。

茨城町のあゆみ 昭和

「茨城町」の誕生は昭和30年。町名は公募により決定されました。茨城県の中央部に位置していることから、将来、町政の発展においても県下第1位の町として永く存続繁栄するように、という願いが込められています。



1950年代

2月11日 ▶ **1955年**
【昭和30年】
長岡村(同日町に改正)、川根村、上野合村、沼前村が合併し、「茨城町」が誕生

5月 ▶ **1956年**
【昭和31年】
茨城町庁舎 完成

3月 ▶ **1958年**
【昭和33年】
石崎村 編入

11月 ▶ **1972年**
【昭和47年】
第1回町民祭

7月 ▶ **1973年**
【昭和48年】
消防庁舎 完成

10月 ▶ **1974年**
【昭和49年】
茨城国体(ピストル競技)を警察学校で開催

2月 ▶ **1975年**
【昭和50年】
中央公民館 完成

5月 ▶ **1979年**
【昭和54年】
茨城町運動公園 完成

8月 ▶ **1984年**
【昭和59年】
富山英明選手、ロス五輪レスリング金メダル獲得



11月 ▶ **1984年**
【昭和59年】
「町民憲章」「町の花・木・鳥」制定

1980年代



行政

暮らす誇りを、ここ茨城町から

「住むことを誇れるまちづくり」、「人が行き交うまちづくり」、「協働のまちづくり」という3つの基本理念を道しるべとして、茨城町の発展のため、各種施策を進めています。



副町長 石毛 光子



町長 小林 宣夫



教育長 矢口 和美

議会

ともに考え、ともに創る まちの未来

町議会は、町政に関する予算や条例の制定、請願・陳情への対応など、町民生活に関わる重要な施策を審議して決定します。より専門的かつ深い議論を行うため、各議員の専門性を生かして構成される「総務・経済建設」、「教育民生」、「予算・決算」の3つの常任委員会で審議を進めています。議会の活動内容や審議結果は、「議会だより」等を通じて町民にお知らせしています。



議長 久保田 良一



副議長 根崎 敏夫



10月 ▶ **2019年**
【令和元年】
いきいき茨城ゆめ国体
(ライフル射撃(CFP)競技)を警察学校で開催

4月 ▶ **2021年**
【令和3年】
霞台クリーンセンターみらい 供用開始

5月 ▶ **2021年**
【令和3年】
ブランド認証制度
茨城町特産品ブランド「いっぴん」創設

9月 ▶ **2021年**
【令和3年】
新学校給食共同調理場 供用開始



4月 ▶ **2022年**
【令和4年】
茨城町デマンド型乗合タクシー
「ひぬま〜る」本格運行開始

4月 ▶ **2023年**
【令和5年】
涸沼自然公園 わいわい広場複合遊具 リニューアル

1月 ▶ **2024年**
【令和6年】
町道120号線バイパス 開通

2020年代

6月 ▶ **2024年**
【令和6年】
茨城町国際交流協会 設立

7月 ▶ **2024年**
【令和6年】
神奈川県開成町と「災害時における相互応援に関する協定」締結

11月 ▶ **2024年**
【令和6年】
涸沼水鳥・湿地センター(展示施設) 開館



1月 ▶ **2025年**
【令和7年】
東京都品川区と
「災害時における相互援助に関する協定」締結

2月11日 ▶ **2025年**
【令和7年】
町制施行70周年



令和

平成



1990年 ▶ ◀12月
【平成2年】 役場新庁舎 完成

1995年 ▶ ◀4月
【平成7年】 涸沼自然公園 開園

1996年 ▶ ◀11月
【平成8年】 総合福祉センター「ゆうゆう館」完成

1997年 ▶ ◀12月
【平成9年】 いばらき聖苑 供用開始

2010年 ▶ ◀6月
【平成22年】 第1回ひぬまあじさいまつり 開催

2011年 ▶ ◀3月
【平成23年】 ひぬ丸くん誕生

2011年 ▶ ◀3月
【平成23年】 東日本大震災発生

2013年 ▶ ◀3月
【平成25年】 消防新庁舎 完成

2014年 ▶ ◀1月
【平成26年】 群馬県玉村町と友好交流都市協定締結

2015年 ▶ ◀5月
【平成27年】 涸沼、ラムサール条約湿地に登録

2016年 ▶ ◀10月
【平成28年】 第1回ひぬまdeマルシェ 開催

2017年 ▶ ◀10月
【平成29年】 福島県大玉村、茨城県美浦村と
友好交流都市協定締結

1990年代



2010年代



茨城町のプロフィール



【町章】

「茨」の文字を図案化したものです。鋭角は町の発展をあらわし、円は町の融和を象徴しています。

【町の花・木・鳥】



桜

古来より日本人の心の象徴として尊ばれ、町内にも「大戸のサクラ」「千貫桜」など由緒あるものが見られることから選定されました。



梅

早春にさがけて花開く姿は、今後も伸展しようとする町の姿そのものであり、町内にも広く分布しているため選定されました。



うぐいす

美しい姿と声で希望に満ちた初春を告げる鳥として、町内にも多く生息しており、親しみやすいことから選定されました。

【友好交流都市】



茨城県 美浦村

茨城県の南部に位置し、村の北部及び東部が霞ヶ浦に臨んでいます。日本中央競馬会美浦トレーニング・センターがあり、競走馬のふるさととして知られる他、国指定史跡「陸平貝塚」など歴史的な見どころも多く、自然と歴史が調和した村です。

写真提供：美浦村



福島県 大玉村

福島県のほぼ中央に位置し、北部に県都の福島市、西部には日本百名山に登録されている「安達太良山」がそびえています。特に、安達太良山の稜線を背景に民家を包み込むように杉や樺などが立つ「いぐね（防風林）」の景観は圧巻です。

写真提供：大玉村



群馬県 玉村町

群馬県の南部に位置し、前橋市、高崎市、伊勢崎市等に隣接した田園都市です。町の北部には利根川、南部には烏川が流れ、赤城、榛名、妙義の上毛三山が一望できる自然豊かな景観が魅力の町です。

写真提供：玉村町

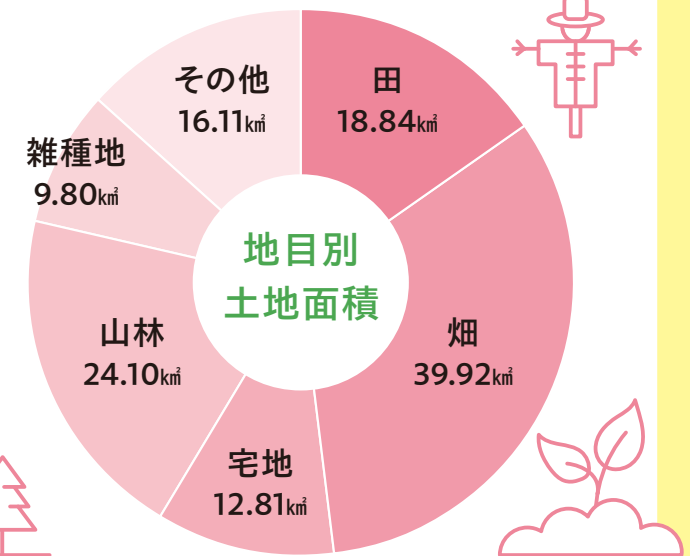


データでみる茨城町

[資料：土地課税台帳など、令和7年1月1日現在]



茨城町の面積



[資料：住民基本台帳、令和8年1月1日現在]



総人口 ▶ **30,179人**



男性 ▶ **15,108人**



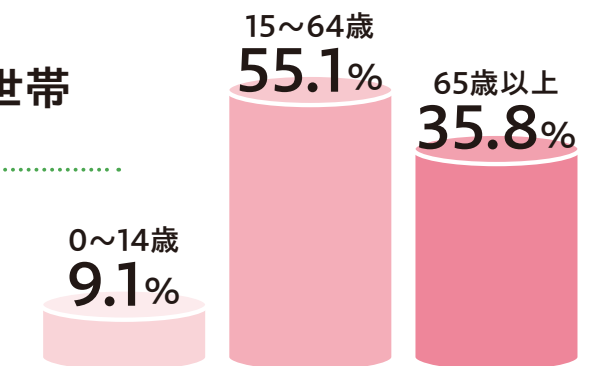
女性 ▶ **15,071人**



世帯数 ▶ **13,758世帯**



人口の年齢別比率 ▶



[令和7年1月～12月の合計]



出生数 ▶ **119人**



死亡数 ▶ **480人**



転入 ▶ **1,273人**



転出 ▶ **1,256人**



茨城町名誉町民				
故	雨谷俊夫氏	元茨城町長		
故	荻津正夫氏	元茨城町長		
故	皆川弘次氏	元茨城町長		
	郡司和幸氏	元茨城町長		
	富山英明氏	ロサンゼルスオリンピック 金メダリスト(レスリング)		
故	小川菊松氏	(株)誠文堂新光社創業者		

歴代助役				
歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	
1	皆川次郎	昭和30年 4月12日	昭和41年 4月30日	
2	金沢正夫	〃 43年 3月26日	〃 50年12月20日	
3	森作光久	〃 51年 7月 1日	〃 55年 6月30日	
4	篠原光	〃 55年 7月 1日	〃 59年 6月30日	
5	神谷誠	〃 60年 1月 1日	平成 4年12月31日	
6	小貫和通	平成 5年 2月 1日	〃 10年10月31日	
7	山田春男	〃 15年 6月 1日	〃 18年 3月31日	

歴代収入役				
歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	
1	佐藤満雄	昭和30年 4月12日	昭和42年 4月11日	
2	塙義幹	〃 43年 4月 1日	〃 51年 2月 2日	
3	篠原光	〃 51年 7月 1日	〃 55年 6月30日	
4	菅谷秀男	〃 55年 7月 1日	〃 59年 6月30日	
5	郡司和幸	〃 60年 1月 1日	平成 3年 1月19日	
6	小貫和通	平成 3年10月 1日	〃 5年 1月31日	
7	高安孝悌	〃 5年 2月 1日	〃 11年 3月26日	
8	小林宣夫	〃 15年 6月 1日	〃 19年 2月19日	

歴代教育長				
歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	
1	菅谷艶	昭和28年 4月 1日	昭和39年 9月30日	
2	雨谷厚	〃 39年10月 1日	〃 43年 9月30日	
3	久保田弘文	〃 43年10月 1日	〃 45年 9月30日	
4	高安武雄	〃 45年10月 1日	〃 47年 1月22日	
5	篠原大資	〃 47年 1月28日	〃 51年 1月25日	
6	沼尻淳	〃 51年 6月24日	〃 59年 9月30日	
7	久保田治部	〃 59年10月 2日	〃 63年10月 1日	
8	二宮昭	〃 63年11月 8日	平成 4年12月21日	
9	野口秀夫	平成 4年12月24日	〃 12年10月31日	
10	和田和	〃 12年11月 1日	〃 15年 5月20日	
11	清水衛	〃 15年 5月21日	〃 16年 9月19日	
12	川澄幾造	〃 16年 9月21日	〃 20年 9月19日	
13	鈴木由美	〃 20年 9月20日	〃 28年 9月19日	
14	矢口和美	〃 28年 9月20日		

歴代町長				
歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	
1	雨谷俊夫	昭和30年 3月27日	昭和42年 3月26日	
2	荻津正夫	〃 42年 3月27日	〃 54年 3月26日	
3	皆川弘次	〃 54年 3月27日	平成 3年 3月26日	
4	郡司和幸	平成 3年 3月27日	〃 11年 3月26日	
5	木村睦	〃 11年 3月27日	〃 15年 3月26日	
6	佐藤順一	〃 15年 4月27日	〃 19年 4月26日	
7	小林宣夫	〃 19年 4月27日		

歴代議長				
歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	
1	松浦義夫	昭和30年 2月11日	昭和30年11月30日	
2	海老沢宗重	〃 30年12月27日	〃 32年12月29日	
3	〃	〃 32年12月29日	〃 34年12月20日	
4	萩谷源之助	〃 34年12月31日	〃 37年 2月14日	
5	小松崎顕美	〃 37年 2月15日	〃 38年12月20日	
6	〃	〃 38年12月21日	〃 39年 9月26日	
7	萩谷源之助	〃 39年 9月26日	〃 41年 1月28日	
8	金沢正夫	〃 41年 1月29日	〃 42年12月20日	
9	宇野博明	〃 42年12月21日	〃 46年12月20日	
10	高安進	〃 46年12月23日	〃 48年12月17日	
11	皆川剛毅	〃 48年12月18日	〃 49年12月19日	
12	黒田博	〃 49年12月19日	〃 50年12月20日	
13	村田昇	〃 50年12月22日	〃 52年12月20日	
14	鳥羽田昭二	〃 52年12月20日	〃 54年12月20日	
15	黒田博	〃 54年12月22日	〃 56年12月20日	
16	鳥羽田昭二	〃 56年12月22日	〃 58年12月20日	
17	大和義明	〃 58年12月21日	〃 60年12月20日	
18	〃	〃 60年12月21日	〃 62年12月20日	
19	嶋根昭治	〃 62年12月21日	平成元年12月15日	
20	鬼澤幸男	平成元年12月16日	〃 2年11月19日	
21	石井明	〃 2年12月 6日	〃 3年 7月25日	
22	大和義明	〃 3年 7月25日	〃 3年12月20日	
23	〃	〃 3年12月24日	〃 5年12月 8日	
24	東ヶ崎晋一	〃 5年12月 8日	〃 7年12月20日	
25	高根沢節夫	〃 7年12月21日	〃 9年12月11日	
26	皆川重孝	〃 9年12月12日	〃 11年12月20日	
27	飯田耕	〃 11年12月22日	〃 13年12月12日	
28	澤秀雄	〃 13年12月13日	〃 15年12月20日	
29	佐藤勇	〃 15年12月22日	〃 17年12月12日	
30	〃	〃 17年12月13日	〃 19年12月20日	
31	小貫昭夫	〃 19年12月21日	〃 21年12月 8日	
32	〃	〃 21年12月 9日	〃 23年12月20日	
33	小貫和通	〃 23年12月21日	〃 25年12月10日	
34	〃	〃 25年12月11日	〃 27年12月20日	
35	海老澤忠	〃 27年12月21日	〃 29年12月 5日	
36	福田茂	〃 29年12月 6日	令和元年12月20日	
37	田家勇作	令和元年12月23日	〃 3年12月 1日	
38	澤秀雄	〃 3年12月 2日	〃 5年12月20日	
39	山面正樹	〃 5年12月21日	〃 7年12月 3日	
40	久保田良一	〃 7年12月 4日		

歴代副町長				
歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	
1	星勝美	平成19年 6月 1日	平成22年 3月31日	
2	矢口和博	〃 22年 4月 1日	〃 25年 3月31日	
3	柴義則	〃 25年 4月 1日	〃 28年 3月31日	
4	酒井和二	〃 28年 4月 1日	〃 30年 3月31日	
5	小林弘文	〃 30年 4月 1日	令和 6年 3月31日	
6	石毛光子	令和 6年 4月 1日		

歴代副議長				
歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	
1	萩谷源之助	昭和30年 2月11日	昭和30年11月30日	
2	木村健治	〃 31年 1月 4日	〃 33年 1月 6日	
3	山口源重郎	〃 33年 1月 6日	〃 34年12月20日	
4	寺内久	〃 34年12月21日	〃 37年 2月14日	
5	加藤才之允	〃 37年 2月15日	〃 38年12月20日	
6	大須賀雲八	〃 38年12月21日	〃 39年 9月26日	
7	金沢正夫	〃 39年 9月26日	〃 40年10月 5日	
8	小貫善通	〃 40年10月 5日	〃 41年 1月28日	
9	黒田博	〃 41年 1月28日	〃 42年12月20日	
10	大貫周美	〃 42年12月21日	〃 46年12月20日	
11	中村栄助	〃 46年12月23日	〃 48年12月18日	
12	萩谷平	〃 48年12月18日	〃 50年12月20日	
13	大和義明	〃 50年12月22日	〃 52年12月20日	
14	小貫力雄	〃 52年12月20日	〃 54年12月20日	
15	松浦善治郎	〃 54年12月22日	〃 56年12月20日	
16	嶋根昭治	〃 56年12月22日	〃 58年12月20日	
17	中村勝男	〃 58年12月21日	〃 60年12月20日	
18	飯塚一郎	〃 60年12月21日	〃 62年12月20日	
19	石塚孝且	〃 62年12月21日	平成元年12月16日	
20	溝口章夫	平成元年12月16日	〃 3年12月20日	
21	長津芳男	〃 3年12月24日	〃 5年12月 8日	
22	飯田耕	〃 5年12月 8日	〃 7年12月20日	
23	清水操	〃 7年12月21日	〃 9年12月11日	
24	皆藤文雄	〃 9年12月12日	〃 10年 4月22日	
25	萩谷寿蔵	〃 10年 5月20日	〃 11年12月20日	
26	澤秀雄	〃 11年12月22日	〃 13年12月12日	
27	高橋良雄	〃 13年12月13日	〃 15年 3月20日	
28	鳥羽田秋典	〃 15年 3月21日	〃 15年12月20日	
29	小貫昭夫	〃 15年12月22日	〃 17年12月12日	
30	市村照彦	〃 17年12月13日	〃 19年12月20日	
31	田家勇作	〃 19年12月21日	〃 21年12月 8日	
32	福田茂	〃 21年12月 9日	〃 23年12月20日	
33	佐藤慎一	〃 23年12月21日	〃 25年12月10日	
34	高安能久	〃 25年12月11日	〃 27年12月20日	
35	久保田良一	〃 27年12月21日	〃 29年12月 5日	
36	〃	〃 29年12月 6日	令和元年12月20日	
37	山面正樹	令和元年12月23日	〃 3年12月 1日	
38	〃	〃 3年12月 2日	〃 5年12月20日	
39	石川祐一	〃 5年12月21日	〃 7年12月 3日	
40	根崎敏夫	〃 7年12月 4日		

